

総務文教常任委員会

委員長 基一 小林
副委員長 健二 原口
委員 正一 木並
富美 松本
吾子 福田
淳 富岡
信智 大山大守

平成24年度熊谷市一般会計補正予算
(教育費)について

問 (仮称) スポーツ・文化村整備事業について、来場者及び近隣住民の安全を確保するため、施設西側道路に歩道を設置するなど、市道拡幅工事を実施することだが、西側道路からの入り口正門付近には民家があり、どのように工事をするのか、伺いたい。

答 道路拡幅については、改良工事請負費900万円が相当する。拡幅にあたっては、市立女子高校側が後退し幅員を確保するので、近隣家屋への影響はない。
(所管課・社会教育課)

問 熊谷市防災会議条例の一部を改正する条例について

問 市長の諮問に応じて市の地域に係る防災に関する重要事項を審議することだが、重要事項というものを具体的に伺いたい。

答 重要事項の審議事項として、例えば、被害想定の見直しなど、今後、防災会議の中で御意見をいただきたいと考えている。
(所管課・危機管理室)

問 熊谷市火災予防条例の一部を改正する条例について

問 急速充電設備について、ガソリンスタンドに設置できるのか。また、その場合、どのような規制があるのか、伺いたい。

答 急速充電設備をガソリンスタンドに設置することは可能であるが、給油時等にガソリン等の可燃性の蒸気が滞留する恐れがあり、静電気や電気火花等により容易に着火する危険があるため、計量機から一定の距離をとるなど消防関係法令の規制がある。また、ガソリンスタンドは危険物の許可施設であるため、市長の許可が必要となる。
(所管課・予防課)

福祉環境常任委員会

委員長 新一 森
副委員長 三千夫 黒澤
委員 清次 新井
昭安 新井
兵衛 松岡
和一 三浦
市郎 松本
浩 大嶋

平成24年度熊谷市一般会計補正予算
(民生費)について

問 『定期巡回・随時対応型訪問介護看護モデル事業』についてはその介護看護事業自体に1事業所が希望したということだが、周知方法等を伺いたい。また、導入したときに考えられるメリットを伺いたい。

答 このサービスが実施されるということで、大里広域市町村圏組合で意向調査をしているが、早期実施を希望する事業所が1カ所であった。また、この制度は、居宅サービスを充実させるために、新たに国で24時間対応の制度設定をしたものであり、介護している家族にとつて、その軽減が図れるというメリットが挙げられる。このようなことから、今後の居宅サービスの中で、大きなウェイトを占めてくるのではないかと考える。
(所管課・長寿いきがい課)

問 1事業所が何人の体制で、どういうサービスができるのかという具体的な根拠はある程度示しているの

か伺いたい。

答 このモデル事業に当たって、全体のイメージはしているが、今後の課題等を検証するものである。どのようなシステムを取り入れたらサービスがうまく展開できるようになるのかなど、事業所と保険者と市が一体となって、モデル事業を進めていく中で検討していく。
(所管課・長寿いきがい課)

問 子ども手当に関して、未申請世帯はどのくらいあるのか。また、子供の人数にするとのくらいになるのか伺いたい。

答 未申請世帯の方は、約1,200世帯で、子供の延べ人数で約1万300人となっている。また、その方には申請してもらえようようお願いの通知を出している。
(所管課・子ども課)



市民産業常任委員会

委員長 保照夫
 副委員長 久夫
 委員 野澤 健昇
 栗原 修
 磯崎 くるみ
 桜井 一之
 松浦 紀
 山田 忠
 林 幸子

平成24年度熊谷市一般会計補正予算
 (農林水産業費) について

問 新規就農総合支援事業について、対象者が16名とのことであったが、どのような方であるのか伺いたい。

答 条件としては、就農時の年齢が45歳未満であること。独立自営就農であること。経営開始計画が実現可能な計画であること。「人・農地プラン」に新規就農者として氏名の記入が見込めること。生活保護を受けていないこと。平成23年度までに就農された方で、前年の所得が250万円を下回る方という条件がある。
 (所管課・農業振興課)

平成24年度熊谷市国民健康保険特別会計補正予算について

問 270万円をかけて特定健康診査受診勧奨事業を行うとのことだが、この270万円の投資に対して受診率向上をどの程度に設定しているのか。また、どれくらい受診する人を増やす目標があるのかについて伺いたい。

また、今回電話で訴えるとのことだが、電話以外の方法は検討されたのか伺いたい。

答 他市の実績を参考にすると、本市では、約1万人に電話をして、1割に当たる1,000人程度が受診するものと考えている。受診対象者数が約4万人であるので、受診率は2・5%程度向上するものと期待している。

平成22年度の受診率が県内で最下位であったため、庁内会議で検討し、10月を強化月間と定めて医療機関や市有施設にポスターを掲示し、医師からも受診を促してもらうこと、モデル地区を2地区選定し、その地区で健康講演会を開催して市民に受診の大切さを伝えること、小学5年生と6年生に、両親や祖父母へ健康の大切さについての手紙を書いてもらい、受診につなげる取り組みを行うことなどを予定している。

(所管課・保険年金課)



都市建設常任委員会

委員長 一貫
 副委員長 高広
 委員 野閑 秋
 加賀 崎 宣
 須永 延
 杉田 実
 関口 弥
 小池 生
 厚

熊谷市荒川南縁水防協議会条例の一部を改正する条例について

問 この条例の改正により内容は具体的にどのように変わっていくのか、伺いたい。

答 改正前の水防法第33条が水防協議会に関する規定であったが、条項ずれが生じたことにより同規定が第34条となったものであり、条例の実質的な内容に影響するものはない。

(所管課・大里行政センター産業建設課)

平成24年度熊谷市一般会計補正予算(土木費)について

問 聖天山周辺地区景観形成事業の中で、まちづくり講演会を行う予定とのことだが、その回数やメンバー、人数をわかる範囲で教えていただきたい。また、アンケートを行うとのことだが、どの区域にどのような形で何回くらい行うのか、伺いたい。

答 地域の景観形成に向けた意識の醸成を図る目的で、11月ごろに女性によ

るまちづくりディスカッションを実施し、来年2月ごろにまちづくり講演会を実施していきたい。なお、女性によるまちづくりディスカッションのメンバー及びまちづくり講演会の講師については現在検討中である。次に、アンケートについては、聖天山周辺の歴史景観誘導地区を中心に実施し、当地域の現状と課題、今後のまちづくりの方向性、整備等について御意見をいただき、今後予定している景観整備計画の中に地元の意向を反映させていきたいと考えている。また、アンケートの回数は、今の段階では1回を考えている。

(所管課・都市計画課)



聖天堂のにぎわい